

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	子どもの保健 B				
担当者氏名	葛本 ひとみ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・春期

《授業の概要》

講義の形態:

- ・配布資料や教科書をもとに講義形式で授業を行い、内容によりグループワークを取り入れる。
- ・パワーポイントで進め、内容により視聴覚教材を用いる。
- ・ミニレポートの作成

学習方法:

- ・検査や実験を交え、グループワークにより理解を深める。

《授業の到達目標》

一人一人や集団全体の健康及び安全について学習し、保健活動について理解する・小児の疾病の特徴を理解し、適切な予防や対応ができる・子どもを取り巻く生活環境の変化と心の健康課題について考える・環境衛生の基準や方法を理解し、望ましい保育環境づくりができる・子どもの事故の傾向について学習し、事故防止の対策について考える・母子保健サービスについて理解し、家庭・専門機関・地域との連携や支援を考える。

《成績評価の方法》

平常点、提出物、グループ(個人)発表 60% 定期試験 40%

《テキスト》

新版子どもの保健 佐藤益子/中根淳子編著 (ななみ書房)

《参考図書》

保育所保育指針 厚生労働省編 (フレール館)  
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 内閣府 文部科学省  
 厚生労働省 (フレール館)  
 幼稚園教育要領 文部科学省 (フレール館)

《授業時間外学習》

【予習】

「子どもの保健 Bの授業計画表」により学習範囲を確認し、テキストを熟読すること。

【復習】

テキストと配布プリントの見直しを行い、各回の学習のまとめをノートに作成すること。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション 小児の主な病気	授業の概要 (1)小児の病気の特徴
2	小児の主な病気	(2)現場でよくある疾患 感染症
3	小児の主な病気	先天異常、神経系疾患、循環器疾患
4	小児の主な病気	アレルギー性疾患、免疫疾患、消化器疾患、呼吸器疾患
5	小児の主な病気	血液疾患、悪性腫瘍であった子・悪性腫瘍である子、腎及び泌尿生殖器疾患
6	小児の主な病気	皮膚の疾患、眼・耳の疾患、整形外科の疾患
7	小児の主な病気	内分泌・代謝疾患、人畜共通感染症・ペットからの感染、乳幼児突然死症候群(SIDS)
8	子どもの精神保健	(1)子どもの心の健康とその課題
9	子どもの精神保健	(2)子どもの生活環境と精神保健
10	環境と衛生管理・安全管理	(1)学校の環境整備と保健
11	環境と衛生管理・安全管理	(2)学校現場における衛生管理
12	環境と衛生管理・安全管理	(3)学校現場の事故防止と安全対策
13	健康及び安全の実施体制	(1)職員間の連携と組織的取組、主な母子保健対策
14	健康及び安全の実施体制	(2)家庭・専門機関・地域との連携
15	法規とまとめ	(1)子どもの保健に関わる法規、まとめ